英語18　まとまりのある内容を話す

<問題文>
あなたは、海外の中学生とお互いのまちについてオンラインで発表し合っています。次はあなたが発表する番です。「あなたのまちを訪れるには、どの季節がよいかを１つ取り上げ」、「なぜその季節がよいのか」を、英語で話しましょう。【考える時間１分　解答時間 30 秒】

１．出題の趣旨

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる。

まとまりのある内容を話す際には、話し手として伝えたい内容や順序、聞き手に分かりやすい展開や構成を考え、１つのテーマに沿った発表をしたり、内容に一貫性があるスピーチをしたりすることが重要である。

英語18では、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかを把握するために、自分のまちを訪れるのにおすすめの季節を１つ取り上げ、その理由を話す問題とした。

■学習指導要領における目標

話すこと［発表］

イ　日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。

■評価の観点

思考・判断・表現

■学習指導要領に示されている言語活動との関連

話すこと［発表］

(イ) 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどをまとめ、簡単なスピーチをする活動。

１．解答類型と反応率

問題番号		解答類型		反応率（%）	正答
18			（正答の条件） 次の条件を満たして解答している。 条件①　自分のまちを訪れるのによい季節を１つ取り上げて話している。 条件②　条件①の理由を話している。		
		1	条件①、条件②を満たして解答しているもの	17.2	◎
		2	文法事項など※に誤りがあるが、条件①、条件②を満たして解答しているもの	4.3	○
		3	条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの	8.9	
		4	条件①を満たし、条件②に関する発話がないもの	1.1	
		5	条件①を満たしていないが、条件②を満たして解答しているもの	21.8	
		6	条件①に関する発話はないが、条件②を満たして解答しているもの	0.4	
		7	条件①、条件②を満たさないで解答しているもの	30.9	
		99	上記以外の解答　（日本語など）	2.0	
		0	無解答	13.5	

※「文法事項など」とは、音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを指す

（N= 15,267 人）

２．分析結果と課題

○　正答率は 21.5%である。自分のまちを訪れるのにおすすめの季節を１つ取り上げ、その理由を話す本問では、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことに課題がある。他の解答類型と比較すると、誤答の中では解答類型５の反応率が 21.8%、解答類型７の反応率が 30.9%、無解答の反応率が 13.5%と高い。

○　平成 31 年度【中学校】話すこと英語 3 では、与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみるために、海外のテレビ局の要望に応えて、自分の将来の夢、またはやってみたいことを話す問題を出題し、正答率は 45.8%であった。今回の結果から、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことに引き続き課題があると考えられる。

○　解答類型１の例

- Spring is a good season to visit my town because we can see a lot of cherry blossoms.
- I think good season is winter because Kagoshima has famous hot springs. You can relax.
- Fall is good because there are good foods in my town. For example, there is seafood.
- Winter is good to visit my town because we have a lot of snow, so you can enjoy skiing.

解答類型１に該当する生徒は、自分のまちを訪れるのにおすすめの季節（条件①）を１つ取り上げ、その理由（条件②）を話すことができている。このことから、日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができていると考えられる。

○　解答類型２の例

- You should visit my town ＿ spring because there <u>is</u> many flowers in my town.
  （前置詞の誤り）（be 動詞の誤り）
- Winter is good to visit my town because mountain is <u>cover</u> ＿ snow.
  （動詞の活用ミス）（前置詞の誤り）

解答類型２に該当する生徒は、英語の表現に関して、所有格の誤り、be 動詞の誤り、形容詞の誤り、前置詞の誤り、動詞の活用の誤りなど一部不正確な表現は見られるが、聞き手に伝わる表現で話している。

※解答類型３以降は、語順の誤り、主語の誤り、一般動詞の欠落、内容の矛盾などがあるため、「条件①」または「条件②」あるいはそのどちらも満たしていない。

○　解答類型３の例

・Spring is good to visit my town because it’s beautiful Sakura.
・You come to this town in the summer because my town is there are is food.

解答類型３に該当する生徒は、自分のまちを訪れるのによい季節（条件①）を話すことはできているが、その理由（条件②）を話すことはできていない。

○　解答類型４の例

・You should visit our town in summer.
・Winter is the best season.

解答類型４に該当する生徒は、自分のまちを訪れるのによい季節（条件①）を話すことはできているが、その理由（条件②）に関する発話がない。理由として話す内容が思い浮かばなかった、あるいは話す内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかったと考えられる。

○　解答類型５の例

・The best season. You can visit the snow festival in our city.
・You should visit our town because you can enjoy swimming in the sea.
・Winter is winter. You can enjoy skiing.
・It’s good to visit my town because summer very interesting.

解答類型５に該当する生徒は、自分のまちを訪れるのによい季節（条件①）を話すことはできていないが、その理由（条件②）を話すことはできている。

○　解答類型６の例

・Because you can enjoy swimming in the sea.
・You can ski and snowboard.

解答類型６に該当する生徒は、自分のまちを訪れるのによい季節（条件①）に関する発話はないが、その理由（条件②）を話すことはできている。自分の考えを明確に表現することに課題があると考えられる。

○　解答類型７の例

・We have many good places.
・Spring. new becautiful flower is Sakura.
・I visit winter.
・Because my town is beautiful illumination.
・Summer because pool

解答類型７に該当する生徒は、自分のまちを訪れるのによい季節（条件①）とその理由（条件②）を話すことができていない。音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を活用して話すことに課題があると考えられる。

３．学習指導に当たって（英語 16～英語 18）

（１）「話すこと［やり取り］」の活動を充実させ、「話すこと［発表］」につなげる

日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができるようにするためには、「話すこと［やり取り］」の活動を充実させることが考えられる。英語16は、留学生のミンと一緒にしたいことを１つ取り上げ、その理由を発表する場面である。令和８年度全国学力・学習状況調査 中学校英語 解説資料では、正答例の１つとして “I want to sing English songs with her because we can enjoy singing together.” を例示している。このような解答を引き出すために、授業において次のようなやり取りを行うことが考えられる。

A: What do you want to do with Ming?
B: I want to sing English songs.
A: Why do you think so?
B: Because we can enjoy singing together.
A: That’s a good idea. Can you say your idea and the reason in one sentence?
B: I want to sing English songs because we can enjoy singing together.

英語16は、留学生のミンと一緒にしたいこととその理由として、１～２文を話すことができれば正答となるが、正答率は 53.5％と課題がある。「話すこと［やり取り］」の活動を充実させ、自分の考えと理由を関連付けて話す活動を繰り返し、３文、４文と徐々に発話する量を増やしていくことで、１つのテーマに沿った発表をしたり、内容に一貫性があるスピーチをしたりするなど、まとまりのある内容を話すことにつなげていくことが大切である。英語 16～英語 18 のように、自分の考えを発表する場面では、“*karuta*” “*Tezuka Osamu*” “Winter” などと語句だけで答えても、それが何を意味しているのかが聞き手に伝わらないため、“I want to play *karuta*.” “My favorite person is *Tezuka Osamu*.” “Winter is a good season to visit my town.”など、文で発話させる指導を行うことが大切である。「話すこと［やり取り］」を繰り返す中で、聞き手に伝わる表現で話せるように指導することを併せて行うことが大切である。

（２）簡単な「話すこと［発表］」の活動を繰り返す

英語 16～英語18のように、まとまりのある内容を話すためには、関心のある事柄について簡単な「話すこと［発表］」を繰り返すことが重要である。上記の（１）の「話すこと［やり取り］」の活動とともに、「自分の考えとその理由を話す」、「体験したこととその感想を話す」など、２文～３文程度で話す活動を行うことが考えられる。一度話した後で、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じているどうかに着目させ、ペアやグループでよりよい内容や表現について振り返る機会を作ったり、ALT の話をモデルとして聞いたりした後、ペアやグループを変えて再度話す活動を行い、徐々に話す内容を増やしていくようにする。

まとまりのある内容を話す際に、自分の考えをキーワードとしてメモに整理させることも考えられるが、まずは、メモを活用せずに、簡単な内容について話す活動を行うことが大切である。４文、５文と話す内容が増えてくると、話す内容や構成を整理する必要が出てくるため、その段階でキーワードなどをメモに書かせることが考えられる。「話すこと［発表］」を繰り返す中で、聞き手に伝わる表現で話せるように指導することを併せて行うことが大切である。

（３）言語活動の例

- ALT が訪れてみたいと思ってもらえるように、自分が住んでいる地域のおすすめスポットとそこでできることなどを紹介する活動
- 聞き手に自分の新たな一面を知ってもらうために、私の好きな人物とその理由について話す活動